



社会の時間

今年のオリンピックの開催地は？

4年に1度開催されるオリンピック。各国の選手たちが熱戦を繰り広げます。今年の開催地はフランスのパリ。そこで今回はオリンピックやフランスに関する問題です。ぜひ挑戦してみてください。



Q1.
1924年に開催された
第1回冬季オリンピックの
開催国はフランスでした。ど
この都市で行われたでしょう？

- ① シャモニー・モンブラン
- ② グルノーブル
- ③ アルバールビル

Q2.
フランスの国旗はトリコ
ロールと呼ばれ、3つの色か
らなっています。フランス国旗は
次のうちどれでしょう？

- ①
- ②
- ③

Q3.
パイ生地とカスタード
クリームを段々に重ねた
フランス菓子の名前は次の
うちどれでしょう？

- ① パリ・ブレスト
- ② ミルフィーユ
- ③ タルト・タタン

参考

『お菓子でたどるフランス史』

〔383.8〕池上 俊一／著 岩波書店

『世界の国旗ビジュアル大事典』

〔288〕吹浦 忠正／著 学研

『すごいぞ!オリンピックパラリンピック
の大記録』

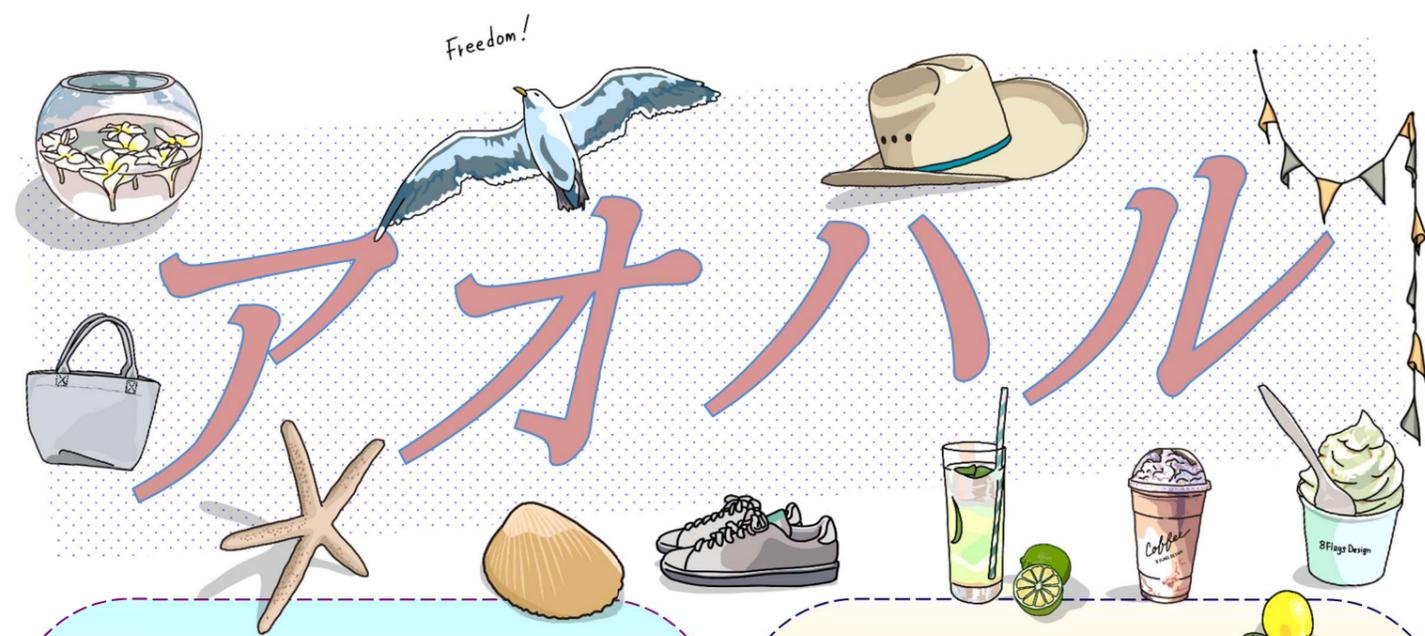
〔780〕講談社／編 講談社



Next Generation は青少年（YY）コーナーの情報紙です。

☆ CONTENTS ☆

社会の時間 / 特集 アオハル / 課題図書・お知らせ



★宇宙食のさば缶を開発した高校生

『さばの缶づめ、宇宙へいく』
小坂康之・林公代/著 イースト・プレス〔667〕

2020年、宇宙飛行士の野口聡一さんがISS(国際宇宙ステーション)からある宇宙食を紹介しました。それは、さば缶。このさば缶、なんと福井県立若狭高校の生徒が開発しました。もともとさば缶を作ってはいましたが、もっと改善できないか考えてNASAが開発した食の衛生管理システムの認証を目指します。認証された後に1人の生徒が言った「宇宙食、作れるんちゃう？」の一言が開発のきっかけになります。

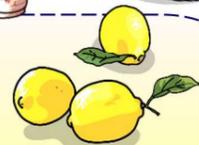
それからいくつもの困難を乗り越えて、先輩から後輩へ代々受け継がれながら14年もの年月をかけてJAXAから正式に宇宙食に認定されました。1人では叶わないことでも大勢であれば叶うことを見せてくれる1冊です。



★アオハルの味？

『給食アンサンブル』
如月かずさ/著 光村図書〔913.6 キサ〕

今、給食のメニューに好き嫌いは多分あるでしょう。食欲ない日もあるでしょう。悩んでいる日は、味もよくわからないかもしれない。この本に出てくる中学生達も同じ。給食メニューをタイトルにした6つの物語が進んでいくよ。「ABCスープ」は、アルファベットのマカロニが入ったコンソメスープ。足立雅人の好物でもある。彼は、愉快で明るく、運動神経抜群で大食いの人気者、というキャラがおれた、と思ってきたし、人に能天気と言われても大丈夫だった。だけど近頃、揺るがないはずの自覚がブレてきて、無理に笑を取っては疲れてるし、おれは、おれの本心がわからないんだ！目には見えない内面の成長がジワリと浸透してくるよ。第二弾もおすすめ。



★「チャリドル」を目指す友情物語

『Re:cycle』 十夜/原作 木野誠太郎/著
PHP 研究所〔913.6 キノ〕

祖父の自転車店「カザハヤサイクル」を手伝っている奏輪。ある日祖父から「店を閉めようと思っている」と告げられ、お店を守るために自分に何が出来るか考えます。転校生の桜臣に相談しながらSNSや動画配信を始め、試行錯誤している中、常連さんに「カザハヤサイクル」の魅力は奏輪と言われ、自転車に乗るアイドル—「チャリドル」になってお店を守ろうと決めます。しだいに「チャリドル」になることが奏輪の夢になって—。両親の反対にあいながらも友達と立ち向かい、夢をつかんでいく青春ストーリーです。



★自分を思索することの面白さ

『言葉を生きる 考えるってどういうこと？』
池田晶子/著 筑摩書房〔104〕

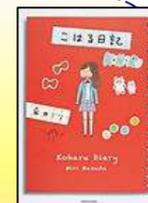
「自分って何者なんだろう？」「言葉はいつ、どこで、誰によって作られたのだろう？」など考えたことはありませんか。この本は、「心はどこに」「私とは何か」「目に見えないもの」「言葉の力」の4章に分かれていて、考えるとはどういうことか教えてくれる本です。自分が嫌い、ダメな自分を愛せない、そんなときにはこの本をどうぞ。自分を味わう方法とその面白さについて見つかるでしょう。この著者の『14歳からの哲学』もオススメです。



★しんみりしたり、チクッときたり

『こはる日記』 益田ミリ/著 KADOKAWA〔726〕

主人公こはるの中学・高校時代～ティーン期の終わりまでの日記風マンガです。—高校での場面。授業中にスマホを出した生徒に向かって「そーゆーもんばかり見てると、自分でなんにも考えられない人間になるゾ」と注意する先生。そこで、こはるの妄想劇場。「そーゆーもんを作ったのは、アンタたちじゃねーか！アンタたち大人が作ってきたんだろう？あたしたちは大人が作ってきたもんを渡されてるだけだ。」と言えちゃう自分。「あたしたちは、まだ、なんにも作ってないし、なんにも決めてない。なあ、そうだろう？作ることも、壊すことも、アンタたちがやってんじゃんかっ」と言えちゃう自分。想像上だけどね！おとなしく授業を受けながらも、心は動きっぱなし、色んなことをぐるぐる考えている10代の微妙な気持ちを、素敵なセンスですく上げている作品です。



★嫌な自分を抱きしめて、二人三脚で明日を目指す

『青い春を数えて』 武田綾乃/著 講談社〔913.6 タケ〕

本番の舞台にトラウマがある放送部の有紗、人生の最短ルートばかり考えている奈菜、おっとりした性格の姉に複雑な感情を抱いている器用な真綾、好きな映画の話もネットを参考にしないと会話ができない細谷など、女子高生を主役にした連作短編集になっています。この本は大きな出来事は起きないけれど、それぞれの悩みや切実な気持ちが描かれています。また読み進めると登場人物に繋がりが見つかるのも面白いポイントです。著者の武田綾乃さんといえば「響けユーフォニアム」シリーズが有名ですが、また違った「青春」を味わえる一冊になっています。



としょかん★なび

season2 その13 本棚の「開架・閉架」について

知ってた？図書館の棚には種類があるよ。

たくさん本を、分けて、整理して、とっておくんだ〜♪



◆まずは、「開架」って？◆

みなさんに公開されているおなじみの本棚は「開架」されている棚です。ざっくり言うと、「旬」の本や「定番」の本が中心になっている感じかな！

◆そして、「閉架」って？◆

主に「旬」を過ぎた本が静かに眠っている書庫。バックヤードですね。もちろん、呼び出しがかかればシャキーンと目覚めてみなさんの手元へ。図書館として永く保存したい本も大切にしているんだ。取り出しは、カウンターで頼むか予約をしてみてくださいね。古い本も味わい深いよ〜

◆さらに、「特別開架」とは？◆

上尾市図書館では、書庫にも入りきらない本を別の建物で保存中。古い文学全集や美術画集や、貴重な資料もあるんだよ。職員が出入りに行ってくるので、取り寄せには時間がかかるけど、気長に待っていてくれると嬉しいな！



このコーナーでは図書館の使い方などをナビゲートするよ。

ちょっとしたコツをつかむと便利だよ！(^^)

スクールライフのツボ！

学校生活にスグ役立つ本〜夏休み！進路発見応援回〜

今回のテーマは「高校」と「仕事」だ！



『総合学科高校—中学生のキミと学校調べ』



小杉真紀/ほか著 ペリかん社〔376.4〕

どんな高校へ行けばいいのかな？と考え始めた人へ、この「高校調べ」シリーズはいかがでしょう。つい成績だけを基準に選ぶとちゃうけど、大切なのは将来どんな自分になりたいかを考えることなんだって。この本では「総合学科」を紹介。授業の多くが選択科目！自己管理が必要だけど、世界が広がりそうじゃない？他に、「商業科」「農業科」「理数科」「国際学科」もあり。まだまだ続刊予定のようです。



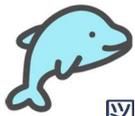
『なりたい！が見つかるお仕事図鑑』

朝日新聞出版/編著 朝日新聞出版〔366.2〕

進学のことと同時に、仕事についてもイメージしているのでは？

この本には、450種以上の職業・職種が出ているよ。例えばスポーツ関連なら、プロ選手だけでなく、審判員、メディカルスタッフ、クラブチーム職員など、スポーツを支える仕事だって見つかるよ。その職業に就くためのルート、勤務時間、収入の目安、在宅ワークは可能かななどの情報を知っておくと、夢と現実が折り合ってくるのでは？





児童・青少年レファレンスタイム

図書館員が調べ物の相談にのります。読書感想文、自由研究や工作など何でも聞いてください！涼しい図書館で図書館員と一緒に調べてみませんか？

・日時：令和6年7月23日（火）・8月6日（火）・20日（火）
14時から16時30分

・場所：図書館本館1階児童室 おはなしのへや



『ノクツドウライオウ』

佐藤 まどか／著

あすなる書房 [913.6 外]

課題図書



中学校

高等学校



『宙わたる教室』

伊与原 新／著

文藝春秋 [913.6 外]



『希望のひとしづく』

キース・カラブレーゼ／著

理論社 [933 外]



『アフリカで、バッグの会社ははじめました』

江口 絵理／著

さ・え・ら書房 [289 外]



『優等生サバイバル』

ファン ヨンミ／作

評論社 [929 外]



『私の職場はサバンナです!』

太田 ゆか／著

河出書房新社 [482]

上尾駅前分館にりんごの棚を設置しました

みんなの学びたい・働きたいを応援する空間を目指して

令和6年6月25日、だれでも楽しめる本を集めた『りんごの棚』を本館に続いて上尾駅前分館1階に設置しました。本館と同じくバリアフリーに配慮したLLブック、点字図書の外に「くらしに役立つ教科書」(生活していくために必要な知識を学ぶことができる教科書)を揃えました。見て、触れて、聞いて、感じる…読書の喜びをぜひ体験してみてください。



図書館で皆さんのところを満たしてくれる一冊を、じっくりさがしてみよう

★表紙『社会の時間』のクイズの答え Q1→① Q2→③ Q3→②